

1. 学校の教育目標

本校は「より高い人格、練磨された技能」を教育方針とし、めざましい技術革新のつづく現代社会に十分対応できる人材の育成及び未来の自動車整備業界を担う人材の育成を目的とする。

2. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	
	今年度評価	前年度評価
学校の理念・目的・教育人物像は定められているか (専門分野の特性が・明確になっているか)	3.36	3.47
学校における職業教育の特色を理解しているか	3.43	3.47
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	2.71	3.00
学校の理念・目的・教育人物像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	2.79	2.88
各学科の教育目標、育成人物像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	2.86	2.82

①課題

学校の理念・目的・教育人物像・特色・将来構想に基づいた学校運営がなされていない。

②今後の改善方法

学校の理念・目的・教育人物像・特色・将来構想を再度確認し、周知徹底していく。

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	
	今年度評価	前年度評価
目標に沿った運営方針が策定されているか	3.14	3.06
運営方針に沿った事業経営が策定されているか	3.00	3.00
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確にされているか、有効に機能しているか	2.93	2.65
人事・給与に関する規定等は整備されているか	2.86	2.82
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	2.71	2.94
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.07	3.00

教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.29	3.29
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.64	3.00

①課題

意思決定システムが整備されていない。

②今後の改善方法

意思決定システムを明確化し、的確な学校運営ができる体制を整えていく。

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	
	今年度評価	前年度評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	2.86	3.12
教育理念、育成人物像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.07	3.24
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.21	3.35
キャリア教育・実践的な職業教育の観点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	2.93	2.88
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの構成・見直し等が行われているか	2.71	2.94
関連分野における実践的な職業教育（産業連携によるインターシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	3.21	3.47
授業評価の実施・評価体制はあるか	2.64	3.06
職業教育に対する外部関係者からの評価を受け入れているか	2.93	3.06
成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.00	3.53
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.21	3.18
人材教育目標の達成に向けた授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保しているか	3.14	3.12
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3.00	3.12
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	2.93	3.18
職員の能力開発のための研修等が行われているか	2.93	3.12

①課題

キャリア教育・実践的な職業教育の観点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されておらず、カリキュラムの構成・見直し等が十分に行われていない等教育活動全般において改善が必要である。

②今後の改善方法

全国自動車整備専門学校・大学校の新技术研修・教職員研修(教育心理・授業運営技法・コーチング等)研修を受ける。

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	
	今年度評価	前年度評価
就職率の向上が図られていますか	3.64	3.65
資格取得率の向上が図られていますか	3.21	3.06
退学率の低減が図られているか	2.71	2.65
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.64	2.76
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2.43	2.47

①課題

退学者の増加。学生が卒業後の調査不足。

②今後の改善方法

退学理由などを精査し、今後の対策を検討する。学生が卒業後も学生や企業を通して情報共有できる体制を整えていく。

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	
	今年度評価	前年度評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.57	3.71
学生相談に関する体制は整備されているか	2.71	3.06
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	2.93	3.35
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2.57	2.82
課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.43	2.65

学生の生活環境への支援は行われているか	2.57	2.76
保護者と適切に連携しているか	3.14	2.94
卒業生への支援体制はあるか	2.57	2.71
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2.64	2.76
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	2.79	2.65

①課題

学生への支援体制、保護者との連携、卒業生への支援体制が不十分である。

②今後の改善方法

学生支援を強化し、保護者と連携しながら、学生にとってより良い学校環境を整えることが必要。学生が卒業後にどのようなサポートを望んでいるかを再度調査し、卒業生に対するサポートを積極的に行っていく。

③特記事項

現状特になし

(6) 教育環境

適切・・・4 ほぼ適切・・・3
やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	今年度評価	前年度評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.43	2.59
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	2.57	2.59
防災に対する体制は整備されているか	2.50	3.00

①課題

自動車の新技術に対応するための設備の拡充が、今後必要と考えられる。防災に対する意識が低い。

②今後の改善方法

設備不足とならないように、今後の新技術への対応も見据えて、計画的な設備、教育内容のアップデートを行っていく。防災に関しても、定期的な防災訓練等の実施を検討していく必要がある。

(7) 学生の受入れ募集

適切・・・4 ほぼ適切・・・3
やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	今年度評価	前年度評価
学生の受入れ募集は、適性に行われているか	3.64	3.53
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.50	3.47

学納金は妥当なものとなっているか	3.21	3.29
------------------	------	------

①課題

現状特になし

②今後の改善方法

現状特になし

③特記事項

現状特になし

(8) 財務

適切・・・4 ほぼ適切・・・3
やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	今年度評価	前年度評価
中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか	2.93	2.94
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.93	2.82
財務について会計監査が適正に行われているか	3.14	3.06
財務情報公開の体制整備はできているか	3.07	2.88

①課題

予算・収支計画についての情報共有がなされていない。

②今後の改善方法

予算・収支計画についての情報共有を行い、職員全体で学校運営に関する意見交換等を積極的に行っていく。

(9) 法令等の遵守

適切・・・4 ほぼ適切・・・3
やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	今年度評価	前年度評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.43	3.29
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.14	3.18
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.00	3.24
自己評価結果を公開しているか	3.00	3.29

①課題

自己評価において、その後の問題点が改善されていない。

②今後の改善方法

まずは自己評価の問題点を職員間で共有し、問題改善のために具体的な対策を考えてい必要がある。

(10) 社会貢献・地域貢献

適切・・・4 ほぼ適切・・・3
やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	今年度評価	前年度評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2.50	2.65
学生ボランティア活動を奨励、支援しているか	2.36	2.47
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託を積極的に実施しているか	2.50	2.47

①課題

地域貢献・社会貢献や学生ボランティア活動の奨励が不十分である。

②今後の改善方法

どのようなボランティア活動があるのか等、ボランティアに関する情報を学校から学生に提供し、学生ボランティア活動に参加しやすい環境を整える。

(11) 国際交流(必要に応じて)

適切・・・4 ほぼ適切・・・3
やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	今年度評価	前年度評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3.29	3.35
留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3.50	3.47
留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3.29	3.06
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2.93	2.76

①課題

学習成果が国内外で評価される取組があまり行われていない。

②今後の改善方法

国外への積極的な情報発信を行うべく、内容や方法について検討していく。

※本年度は新型コロナウイルスの影響で委員会を開くことができなかったため、書面にて委員全体へ報告を行った。